

平成23年行政事業レビューシート(外務省)									
事業名	困窮邦人帰国対策費(国援法・送還費)			担当部局庁	領事局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和28年度～			担当課室	海外邦人安全課			課長 一方井 克哉	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅳ－2 海外邦人の安全確保に向けた取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条9項 国の援助を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律			関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外に在住する邦人が、在留国から強制退去等の処分を受けて帰国せざるを得ない場合や当該国で経済的に困窮化し、帰国を希望する場合であって、自ら帰国費用を工面することができず、親族等関係者からの経済的支援を得ることが出来ない場合、「国の援助を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律」を適用し、帰国費用等を貸付け帰国させる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	在留国において疾病、事故、家族の死亡等の理由により困窮状態に陥り、我が方在外公館に帰国支援を含む保護を求めてくる邦人は在留邦人や海外渡航者の増加に伴い、年々増加の一途を辿っている。このような邦人に対して在外公館では自助努力を促しているが、自ら帰国費用を工面できなかった邦人を当該在留国に放置することは、人道上也、また、我が国及び我が国国民への信頼上も好ましくないためこれらの邦人に帰国費を貸し付け帰国させる必要がある。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☒ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	4	3	3	3	3		
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	4	3	3	3	3		
	執行額		2	2	2				
	執行率(%)		50	66.7	66.7				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	困窮邦人に対し帰国等のための経費を貸し付ける。			成果実績	件	14	11	18	34
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	困窮邦人に対し帰国等のための経費を貸し付ける。			活動実績 (当初見込み)	人	14	11	18	34
単位当たりコスト	93, 000(円/件)			算出根拠	1, 674, 000円 / 18件 = 93, 000円				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	送還費	2,908	2,810						
	計	2,908	2,810						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	1案件毎に可能な限り安価な航空券を利用するよう努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	①本件経費は、海外で経済的に困窮化した邦人を帰国させるための最終的な手段であり、本件経費の見直しを行った場合、経済的に困窮化した邦人を海外に放置することは、人道的にも、また我が国及び我が国国民への信頼上も好ましくない。 ②送還費等貸付の実施にあたっては、在外公館において本人の人定事項等の確認を行うとともに、困窮に至った経緯を聴取し、国から資金の貸し付けを受ける以外の方法により帰国費用を調達できないか十分に確認している。また、本省においては戸籍の公用請求などによる親族調査を実施し、本邦親族等による支援の可能性を追求した上で、最終的に自らの努力により帰国費用調達が困難であることを確認している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省
3百万円



貸付申請者
19件
1.6百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	邦人A	国援法	0.4		
2	邦人B	国援法	0.3		
3	邦人C	国援法	0.2		
4	邦人D	国援法	0.1		
5	邦人E	国援法	0.1		
6	邦人F	国援法	0.1		
7	邦人G	国援法	0.1		
8	邦人H	国援法	0.1		
9	邦人I	国援法	0.1		
10	邦人J	国援法	0.1		